

氏名	加 原 尚 明
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3560号
学位授与の日付	平成13年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	CD44 expression in soft tissue sarcomas (軟部肉腫におけるCD44 variantの発現の検討)
論文審査委員	教授 赤木 忠厚 教授 中山 睿一 教授 光嶋 勲

学位論文内容の要旨

接着分子であるCD44の機能は多岐にわたるが、近年ある種の癌転移を媒介することが示唆されている。今回軟部肉腫におけるCD44の発現と予後との相関につき検討した。対象は当科で治療を行った軟部肉腫47例で、その内訳は悪性線維性組織球症(MFH)が18例、滑膜肉腫が13例、悪性神経鞘腫7例、脂肪肉腫9例であった。抗ヒトCD44H、CD44v3、v4、v5、v6、v7、v9、v10抗体を用い、ホルマリン固定パラフィン切片を免疫染色した。CD44H陽性例は53%、CD44v3陽性例は4%、CD44v4陽性例は11%、CD44v5陽性例は9%、CD44v6陽性例は21%、CD44v7陽性例は4%、CD44v9陽性例は19%、CD44v10陽性例は認めなかった。。CD44v6において発現例と非発現例の無遠隔転移累積生存率には統計学的有意差が認められた($p < 0.03$)が、他のvariantでは有意差を認めなかった。以上よりCD44v6は軟部肉腫における転移機序に関与していることが示唆され、予後を知る上でのマーカーの一つとなりうると考える。

論文審査結果の要旨

本研究は、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫、悪性神経鞘腫、脂肪肉腫の計47例のヒト軟部肉腫ホルマリン固定パラフィン包埋材料について、CD44のスタンダード及び各種バリエーション・イソフォームに対する単クローン抗体で免疫染色を行い、CD44の発現と予後との相関について検討したものである。CD44v6において発現例と非発現例の間に、無遠隔転移累積生存率に統計学的有意差が認められ、CD44v6が軟部肉腫の転移機序に関与していることを示唆する知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。